



※電子配信しております。

紙面印刷・インク代などの経費削減に

ご協力ありがとうございます。

令和7年度 後期学校評価アンケート号

京都市立向島秀蓮小中学校

校長 太田 美佐和

《学校教育目標》 「他とのつながりを大切にし、『未来を拓く力』の育成する
～果敢に挑戦、知らない自分に会いに行け!～

12月に行った学校評価アンケートの結果をまとめ、分析を行いましたのでお知らせします。

＜保護者アンケートの結果より＞

R7学校評価 保護者アンケート 結果		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
1	総括調査や単元テストは家庭学習の動機づけとして効果がありますか。	前期 23%	56%	18%	3%
		後期 25%	54%	16%	5%
2	総括調査や単元テストにむけ、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。	前期 20%	59%	5%	16%
		後期 24%	54%	6%	16%
3	家庭学習において、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。	前期 48%	34%	10%	9%
		後期 47%	32%	10%	11%
4	地域とのつながりを重視した学習が展開されていると思いますか。	前期 23%	61%	13%	2%
		後期 25%	58%	13%	4%
5	保護者として「生徒・保護者・地域・教職員にとっての幸せな学校」を意識したり、考えたりすることがあった	前期 14%	49%	33%	4%
		後期 13%	56%	25%	7%
6	ピア交流活動等といった本校独自の取り組みが生徒の成長に効果があるものとなっていますか	前期 27%	64%	8%	1%
		後期 35%	57%	5%	3%
7	子どもにとって、学校は安心して過ごせる場所だと思いますか。	前期 28%	64%	7%	1%
		後期 30%	62%	6%	2%
8	本校は生徒一人一人に丁寧に寄り添っていると感じますか。	前期 24%	65%	8%	3%
		後期 26%	62%	10%	2%
9	チーム担任制により、多くの教員に相談しやすくなったと思いますか	前期 13%	38%	37%	12%
		後期 17%	40%	34%	9%
10	本校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かしていると思いますか。	前期 23%	65%	11%	2%
		後期 28%	60%	10%	3%
11	本校では、教科担任制（教科交換を含む）を導入していますが、その効果はあると思いますか。	前期 27%	59%	13%	2%
		後期 29%	58%	9%	4%

「保護者として「生徒・保護者・地域・教職員にとっての幸せな学校」を意識したり、考えたりすることがあった。」の質問項目では「よくあてはまる」「あてはまる」と回答された割合が前回（7月）に比べて高くなっていました。昨年度から、「生徒・保護者・地域・教職員にとっての幸せな学校」をスローガンとして掲げ、学校だより等でお知らせしてきました。そのスローガンを意識してくださっている保護者の方が増えたことはとてもありがたいことです。地域の方に総合的な学習の時間等でゲストティーチャーとしてお世話になったり、朝の見守り活動等に協力をいただいていたりとたくさんお世話になっております。本当にありがとうございます。引き続き、学校教育へのご理解・ご協力どうぞよろしくお願いします。

「チーム担任制により、多くの教員に相談しやすくなったと思いますか。」の質問項目に対して「よくあてはまる」「あてはまる」と回答された割合が前回（7月）に比べて高くなっていました。チーム担任制の良さを感じていただいている保護者の方が増えていることがわかります。しかしながら、相談しにくいと感じられている保護者の方も多くおられます。チーム担任制については成果と課題をしっかりとふりかえり、よりよい形を引き続き模索していきたいと考えています。

＜生徒アンケートの結果～確かな学力～＞

	年度	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
		よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	他の人の考えに触れたり、自分の意見を説明したりして、自分の考えを深めることができている	R6（前半期） 49%	37%	12%	2%	37%	47%	13%	3%	30%	56%	14%	1%
		R6（後半期） 39%	46%	11%	1%	24%	51%	24%	1%	33%	52%	14%	1%
		R7（前半期） 45%	39%	14%	2%	27%	49%	22%	2%	29%	58%	8%	5%
		R7（後半期） 32%	47%	20%	0%	23%	55%	21%	1%	32%	61%	5%	2%
2	授業の目標に向けて取り組み、授業の振り返りでは、考えたこと、目標達成度、次の目標やめあてを確認できている	R6（前半期） 49%	37%	12%	2%	37%	47%	13%	3%	30%	56%	14%	1%
		R6（後半期） 51%	35%	13%	1%	22%	54%	22%	2%	18%	62%	18%	2%
		R7（前半期） 48%	39%	9%	3%	27%	55%	15%	2%	28%	51%	18%	4%
		R7（後半期） 44%	39%	16%	2%	19%	54%	25%	2%	20%	60%	16%	4%
6	授業中に友達と一緒に問題を解決している	R6（前半期） 56%	29%	11%	3%	45%	43%	8%	4%	44%	50%	4%	1%
		R6（後半期） 54%	33%	12%	1%	34%	54%	10%	2%	41%	53%	4%	2%
		R7（前半期） 42%	38%	14%	7%	39%	48%	11%	3%	42%	52%	5%	1%
		R7（後半期） 45%	35%	13%	7%	35%	52%	11%	2%	37%	55%	7%	2%

「他の人の考えに触れたり、自分の意見を説明したりして、自分の考えを深めることができる。」の質問項目において、後期アンケートでは前期アンケートと比べて肯定的な回答が増えました(82.3% → 83.3%)。特にビジョンステージでは 87% → 93%と大きく伸び、仲間との対話を通して考えを深める姿がより強まっています。また、「授業中に友達と一緒に問題を解決している。」の質問項目についても、前半アンケートと同じ高い水準(87.0% → 86.3%)で安定しており、友だちと協働して学ぶ学習が身についているといえます。一方で学習をふりかえる力については後期アンケートにおいてやや低下が見られました(82.7% → 78.7%)。特に TS(5～7年生)では 82% → 73%と大きく下がっています。『自分がどこまでできたのか』『次に何をめざすのか』を言語化することは難しいことではありますが、ふりかえりを行う時間を確保し、自分の学習を見つめ、改善することを大切にしていきます。

<お家で関わり方が力になります！>

- ・家庭学習を行う時間の確保をお願いします。(学年×15分が目安だと言われています。)
- ・自分で進んで学習に向かう姿勢を是非、褒めてください。
- ・今日、学校でどのような学習をしたのかをお家で聞いてください。

学習をふりかえる機会になります。

<生徒アンケートの結果～豊かな心～>

		年度	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
			よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
10	楽しく学校生活を送っている。	R6（前期）	72%	17%	7%	4%	56%	33%	9%	2%	52%	41%	6%	0%
		R6（後期）	68%	24%	5%	3%	48%	44%	7%	1%	52%	38%	7%	4%
		R7（前期）	65%	25%	6%	4%	49%	42%	7%	3%	54%	40%	5%	1%
		R7（後期）	63%	25%	8%	4%	48%	41%	9%	2%	50%	46%	3%	0%
11	友だちと協力することを大切にしている。	R6（前期）	72%	22%	4%	1%	65%	28%	6%	2%	61%	34%	3%	1%
		R6（後期）	71%	23%	5%	1%	49%	43%	7%	1%	61%	38%	0%	1%
		R7（前期）	67%	24%	7%	2%	56%	38%	5%	4%	54%	42%	3%	2%
		R7（後期）	62%	30%	7%	2%	51%	46%	2%	1%	54%	41%	2%	2%
24	学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かしていると思う。	R6（前期）	68%	22%	6%	4%	45%	42%	11%	3%	41%	52%	7%	1%
		R6（後期）	64%	28%	7%	1%	39%	47%	12%	2%	40%	52%	7%	1%
		R7（前期）	43%	45%	8%	4%	45%	45%	10%	1%	38%	57%	3%	2%
		R7（後期）	53%	32%	12%	3%	38%	54%	7%	1%	42%	53%	3%	2%
8	他の学年の人とのつながりを大切にしている（ピア交流活動など）	R6（前期）	71%	23%	5%	1%	51%	39%	8%	2%	33%	54%	13%	1%
		R6（後期）	70%	24%	5%	0%	32%	54%	9%	4%	34%	52%	12%	2%
		R7（前期）	64%	30%	4%	3%	39%	49%	11%	1%	37%	51%	8%	4%
		R7（後期）	60%	34%	5%	0%	36%	53%	9%	2%	37%	54%	7%	2%
9	自分や他の人を大切にし、それぞれの個性を認めるようにしている	R6（前期）	63%	29%	6%	2%	49%	47%	4%	0%	47%	50%	3%	0%
		R6（後期）	54%	37%	8%	0%	37%	54%	6%	2%	47%	49%	1%	2%
		R7（前期）	55%	37%	6%	2%	45%	50%	5%	0%	43%	55%	2%	1%
		R7（後期）	51%	38%	9%	2%	33%	63%	4%	0%	52%	47%	1%	0%

「友だちと協力することを大切にしている」や「他の学年の人とのつながりを大切にしている」、「楽しく学校生活を送っている」の質問項目において、後期アンケートでは前期アンケートよりも「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している割合が増えていました。生徒はピア交流を非常に肯定的にとらえており、ピア交流を行うことで協力することの大切さや学校の楽しさに良い影響を与えていると考えられています。今後も、ピア交流を軸にした取組を推進していきます。

<お家で関わり方が力になります！>

1日の終わりに、以下のような短いふりかえりをお子さんと一緒にしてみてください。

- ・今日、誰かにしてもらって嬉しかったこと
- ・友だちのよいところに気づいたこと
- ・明日こんなふうになりたい

学校での学びとご家庭の会話がつながることで、子どもたちの“人と関わる力”や“気持ちを整える力”が大きく育っていきます。

<生徒アンケートの結果～健やかな体～>

	年度	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
		よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①学年に応じた寝る時間を心がけている (Basic：9時、Team：10時、Vision：11時)	R7 前期	48%	24%	17%	11%	32%	28%	23%	16%	32%	25%	30%	13%
	R7 後期	37%	22%	19%	23%	22%	28%	29%	21%	28%	27%	30%	15%
②学校に行く日は午前7時までに起きている	R7 前期	59%	20%	14%	7%	40%	29%	21%	10%	44%	25%	19%	12%
	R7 後期	54%	19%	15%	12%	32%	30%	26%	13%	35%	24%	18%	23%
③毎朝必ず朝ご飯を食べている	R7 前期	75%	12%	10%	4%	71%	19%	6%	5%	62%	22%	13%	3%
	R7 後期	76%	12%	8%	4%	67%	17%	11%	5%	64%	22%	8%	6%
④家や学校で意識して体を動かしたり、運動をしたりしている	R7 前期	62%	23%	10%	5%	53%	32%	11%	3%	52%	31%	15%	2%
	R7 後期	61%	25%	11%	3%	43%	36%	17%	4%	47%	36%	11%	6%
⑤家や学校の食事で、自分の体の成長に必要な栄養や分量をとることができている	R7 前期	56%	30%	12%	2%	44%	44%	12%	1%	45%	43%	10%	2%
	R7 後期	47%	32%	19%	3%	36%	52%	10%	2%	40%	50%	7%	2%

「毎朝必ず朝ご飯を食べている」「家や学校の食事で、自分の体の成長に必要な栄養や分量をとることができている」の質問項目では、前期アンケートよりも「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している割合が増えていました。一方で、「学年に応じた寝る時間を心がけている。」の質問項目では、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合が、ベーシックステージでは、72%→58%、チームステージでは、60%→50%と大きく下がっています。また、「学校に行く日は午前 7 時までに起きている」の質問項目では、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している割合が、どのステージでも低くなっています。特にビジョンステージでは、69%→59%と大きく下がっています。今年度も睡眠を課題ととらえ、睡眠の大切さに気づくことができるように学習を進めましたが、改善には結びついていません。引き続き、ご家庭とともに睡眠を大切にすることを推進していきます。

<お家で関わり方が力になります！>

- ・就寝前 30 分は“おやすみモード”にしましょう。明かりを落とし、テレビ・ゲーム・スマホはオフ。決まった時間に寝るための準備を。
- ・起きたら“朝のスイッチ”を入れましょう。カーテンを開けて日光を浴びると朝日を浴びると脳内の「幸せホルモン」セロトニンの分泌と、体内時計のリセットができます。セロトニンからメラトニンがつくられ、夜に分泌され、深部体温を下げて心身をリラックスさせ、眠りを誘います。これにより朝はすっきり目覚め、夜は自然な眠気が来る快眠リズムが整います。

<生徒アンケートの結果～家庭・学校・地域との連携について～>

			実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
			よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
17	チーム担任制は、担任の先生が複数人いることで、クラスや学年が良くなったと感じる	前期	46%	36%	11%	7%	28%	46%	19%	8%	25%	46%	22%	7%
		後期	57%	29%	10%	4%	26%	49%	19%	5%	29%	49%	20%	2%
18	チーム担任制は、たくさんの先生に話がしやすくなったと感じる	前期	54%	29%	14%	3%	36%	48%	12%	5%	25%	46%	22%	7%
		後期	54%	27%	16%	3%	36%	44%	14%	5%	35%	48%	13%	4%
19	蓮花タイムなどで地域とのつながりを大切に学習を進められている	前期	55%	33%	6%	7%	32%	58%	9%	1%	30%	56%	12%	2%
		後期	57%	34%	9%	1%	33%	59%	5%	2%	29%	63%	6%	2%
20	地域の方や、見守り隊の方に、元気よくあいさつしている。	前期	63%	23%	11%	3%	35%	48%	15%	2%	33%	46%	15%	5%
		後期	58%	32%	10%	1%	33%	49%	17%	0%	38%	49%	11%	2%
21	どんな大人になりたいかを、家の人と話している。	前期	50%	26%	11%	13%	27%	27%	30%	16%	18%	38%	28%	16%
		後期	43%	22%	21%	15%	18%	29%	37%	16%	23%	37%	31%	9%
22	失敗をおそれずにたくさんのことにチャレンジしている。	前期	56%	30%	11%	3%	30%	44%	21%	5%	25%	45%	22%	8%
		後期	47%	34%	17%	3%	22%	51%	21%	6%	27%	46%	24%	4%
23	だれにでも思いやりの心をもって過ごしている。	前期	57%	30%	11%	2%	36%	54%	10%	1%	38%	48%	11%	3%
		後期	50%	34%	14%	3%	27%	62%	10%	1%	39%	55%	4%	2%
24	学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かしていると思う。	前期	43%	45%	8%	4%	45%	45%	10%	1%	38%	57%	3%	2%
		後期	53%	32%	12%	3%	38%	54%	7%	1%	42%	53%	3%	2%
25	教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている	前期	53%	37%	7%	2%	43%	52%	4%	2%	42%	46%	8%	3%
		後期	61%	25%	11%	3%	38%	55%	5%	1%	42%	53%	3%	2%

「チーム担任制は、担任の先生が複数いることで、クラスや学年が良くなったと感じる」という質問項目では、全体として肯定的な回答した割合が前期アンケートと比べて 75.4% → 80.0%へと上昇しました。特にビジョンステージでは+7.3 ポイントと大きく伸び、安心感が高まっている様子がうかがえます。「チーム担任制は、たくさんの先生に話がしやすくなったと感じる」の質問項目では、ビジョンステージでは前期アンケートから 70.8% → 82.9%と回答した割合が増えました。また、「だれにでも思いやりの心をもって過ごしている。」「地域の方へ元氣よくあいさつしている。」「教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている。」の質問項目は、いずれも「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合が増えています。チーム担任制を行うことで、生徒は相談できる大人が増えたと感じており、それによって他と豊かにつながろうとする姿勢につながっていると考えられます。チーム担任制については、生徒は肯定的にとらえている一方で、保護者の方は肯定的な回答が増えてはいるものの、そうではない回答も一定数おられます。『豊かな心』でも述べましたが、今後もより良いチーム担任制を目指していきたいと考えています。

「どんな大人になりたいかを家の人と話している」の質問項目では、前期アンケートと比べてベーシックステージでは 76.4% → 64.9%、チームステージでは 54%→47%と大きく下がりました。子どもが成長して照れを感じたり、日々の予定や宿題が優先になったりするなど、さまざまな理由が考えられます。保護者の方や私たち教職員が日頃大切にしていること等を子どもたちと話すことで、子どもたちの将来への意欲や自己肯定感を大きく育てるきっかけになります。短時間でも子どもたちに声をかけたり、会話したりすることを学校と保護者の方がともに大切することで子どもの健全な成長につながると考えています。

<お家で関わり方が力になります！> 「1分だけの会話」でも十分です。おうちの中でふとした瞬間に、

- ・「今日おもしろかったことあった？」
- ・「これからやってみたいことってある？」
- ・「〇〇をがんばっていたら、大人になった時に役立つよ。」

など短時間でも気軽に声かけをしていただけたらと思います。

<最後に…>

前期から後期にかけて、子どもたちは学級・学年のつながりを深め、思いやりのある行動や主体的な学びへと着実に成長してきました。こうした変化の背景には、チーム担任制による安心感や、多くの行事を通して得た経験、そして日々の学校生活の中で、さまざまな先生や仲間と関わるなかで育まれた力があります。

学校とご家庭が一緒に子どもたちを支えていくことで、子どもたちはさらに大きく成長していきます。今年度、前期と後期の2回、アンケートを行い、向島秀蓮小中学校の課題として特に2点共有させていただきます。

○家庭学習の時間の確保を！

家で勉強することは、子どもたちの進路選択の上でもとても大切です。9年生の生徒の多くが、8年生までにもっと勉強しとけばよかったとふりかえっています。子どもたちは学校では一生懸命に学習しています。それを家でふりかえり、復習することで学習内容がより確かなものになります。

○睡眠時間の確保を！

睡眠時間の少なさは向島秀蓮小中学校の多くの生徒の課題です。しっかりと寝ないと、体も成長しません。体調も崩しがちになります。学習や部活動など子どもががんばりたいことをがんばりきることができなくなります。睡眠は全ての活動を支えるものと言っても過言ではありません。しっかりと睡眠をとれる環境づくりは家庭にかかっています。どうぞよろしくお願いします。

以上の2点を保護者の皆さまと一緒に課題意識をもって子どもたちに声かけ、指導を行っていきたいと思っております。今年度のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後も温かい見守りとご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。